

令和6年度 芸術科 「美術Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A組～E組
教科書	高校美術2 (日本文教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>③ 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	鑑賞 表現 (デザイン) (版画) ステンシル	オリエンテーション	・美術Ⅰでの学習を振り返り、美術Ⅱでの学習のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。	取り組みの様子 ワークシート アイデアスケッチ 取り組みの様子
	5		伝統文様について	・日本ならではの伝統文様について理解を深め、文様に込められた意味や発祥について学ぶ。	
			オリジナル文様づくり	・オリジナルの文様をデザインする。	
			カッティング	・材料や用具についての正しい知識を身に付ける。	
		平面構成の秩序	・文様の美しさを生かした平面構成をする。		
	6	表現 (デザイン) (版画) ステンシル	着色	・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫し、ステンシル技法ならではの特性を生かした作品制作を行う。	ワークシート 作品 取り組みの様子
7	鑑賞		・級友の作品を相互に鑑賞し、より良い造形的価値を求めていく。		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	表現 (デザイン) (版画) エコバック制作	課題説明 アイデアスケッチ 原画制作	・各自デザインのテーマを決め、画面構成や配色に留意してオリジナルデザインを制作する。	ワークシート 作品 取り組みの様子
	10		カッティング 製版	・版作成に用いる材料や用具の特性を理解し、手順に沿って版を起し効果的な版表現の実際を学ぶ。	

	11		印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の正しい扱い方を学ぶ。 ・デザインのテーマに適した配色について検討する。 	ワークシート 作品 取り組みの様子
	12		完成・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・シルクスクリーン印刷の方法を学び、お互いに協力し合いながらエコバックにオリジナルデザインを印刷する。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 	鑑賞シート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	表現 (デザイン) ご当地ナンバープレート制作	アイデアスケッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンバープレートという特徴を生かしたデザインを練る。 	ワークシート 作品 取り組みの様子
	2		配色計画	<ul style="list-style-type: none"> ・色によるイメージ伝達を基に、感性や創造性を働かせて表現の構成を練る。 	
	3		着色	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫する。 	鑑賞シート
			完成・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 	

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える創造的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3点から、総合的に評価する。 ・各学期とも、作品、ワークシート等、取り組み状況などで、多面的に評価する。 ・各学期の成績を総合し、年間の成績とする。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・自身の思い、考え、感覚をもとに、自分の目と手で試行錯誤をしてみてください。より良いものを創造するためには、制作の苦労があるのは当然です。ぜひ、そこを乗り越えて新境地を開拓してくれることを望んでいます。
